

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	薬毒物検査に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	新潟大学または千葉大学において法医解剖を実施し、尿検体が得られた方を対象として実施します。既存検体として、2003年（平成15年）1月から現在までの保存検体を利用し、新規検体として、承認以降に行われる法医解剖によって採取される尿検体を利用します。
③概要	近年、本邦における薬毒物を利用した中毒症例は、若年層を中心に増加しており、使用される薬毒物も市販薬や処方薬、違法薬物など多岐にわたります。法医学分野では、対象者が薬毒物の服用をしていたかどうかを簡便に検査できるキットを利用する場合があります。一方で、本邦で上市されているキットのうち、海外から導入されているキットがありますが、海外の薬毒物事情を反映したキットであるため、本邦の薬毒物事情に適したキットが求められます。そこで、本研究の目的は、本邦に最も合うようカスタマイズした薬毒物検査キットの構築を行うことです。本研究では、新潟大学または千葉大学法医学教室で解剖された方を対象に行います。その際に、医療機関や警察からもたらされる情報や、対象者の尿を利用します。ご遺族の方には、研究を拒否する機会があります。また、拒否しても不利益を生じることはありません。
④申請番号	2025-0278
⑤研究の目的・意義	本キットの開発により、本邦で拡大する薬毒物事案に対して、より適したスクリーニング検査を可能にすることが期待されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2030年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	どんな薬毒物を摂取したかを明らかにするために、医療機関や警察からもたらされた情報を基に検討を行います。この情報は、共同研究機関である千葉大学にも提供されます。個人情報は対応表を用いて管理をするため、個人情報の保護にあたっては細心の注意を払い、すべての事例について特定の個人が識別できない情報にした上で研究を行います。
⑧利用または提供する情報の項目	「刑事訴訟法」に従い、医療機関や警察からもたらされる対象者の経歴（年齢、性別など）、死亡推定時間や、摂取した薬毒物状況などの情報を利用します。また、対象サンプルとして、尿を利用します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学医学部法医学教室 助教 小山哲秀 共同研究機関：千葉大学薬学研究院法中毒学研究室 講師 永澤明佳
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医学部法医学教室 助教 小山哲秀 共同研究機関：千葉大学薬学研究院法中毒学研究室 講師 永澤明佳
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。

	<p>所属：新潟大学医学部法医学教室 氏名：小山 哲秀 Tel : 025-227-2146 E-mail : koyama@med.niigata-u.ac.jp</p>
--	--